



こんにちは！ 子育て支援センターです

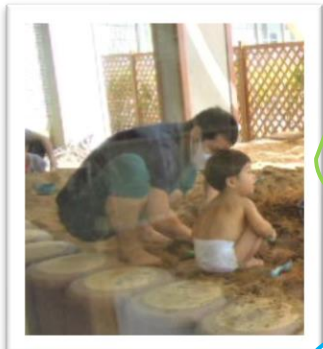


令和3年10月

食欲の秋です。ほんのり甘いさつまいもは、離乳食にもぴったりの食材ですね。手づかみ食べのお子さんにも大人気なのではないでしょうか。やわらかく煮た大根やニンジン・カボチャなど、おうちでも様々な秋の味覚を楽しんでくださいね。

★★ お父さんと一緒に過ごす時間 ★★

… 父親の背中を見て遊びの楽しさを知る …

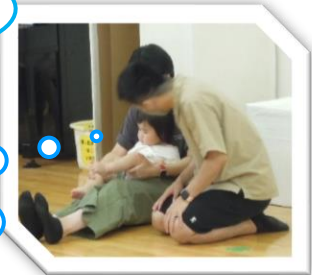


小さな子どもとの遊びは、大人がまずやって見せるものがほとんどです。子どもがそれを見て興味を持ち、自分で体を動かすようになることが大切です。お父さんとの楽しい遊びを通して、子どもは人を好きになり、心身ともにたくましく育っていきます。

お父さんがお子さんと接している姿を目にすると、とても微笑ましい気持ちになります。いいお父さんだな…お子さんは幸せだろうな…と。



お子さんの顔を覗き込む姿にお父さんのあたたかなまなざしが感じられます。



子どもが泣いている時



子どもが泣いてしまうのは、**自分の思いを上手く言葉で表現できない**からです。言葉が話せるようになると、だんだん泣かなくなります。

子どもが泣いている姿に対して、どう感じるかは人それぞれですが、子どもの泣く姿を見るとイライラすると感じている人は、「泣いて、思い通りにしようとしているように見える」「親を困らせようとしているように見える」など、「泣くことはよくない」と感じているのです。

子どもが泣かなくなったら楽ですが、「泣かなくなる」とは、「感情を抑圧し何も感じなくなる」ということに繋がります。悲しみや不安を感じなくなるとともに楽しさやうれしさ、喜びも感じなくなり、**とんとん無表情な子ども**になっていきます。

「このおもちゃで遊びたかったんだね」「知らない人がたくさんいたからびっくりしたね」など…**子どもの気持ちを代弁**してあげてください。すぐには泣き止まないかもしれませんが、**気持ちを分かってもらえるとムダに大声で泣きわめくことはだんだん減っていきます。**

子どもが泣くのは、笑うのと同じくらい大切なことです。子どもだからこそ大声で泣けるのです。

★ 「3密」を避け、マスクの着用・手洗いで感染対策を徹底していきましょう★